

## 令和7年5月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

## 1. 清水港

輸出総額は1,583億円（対前年同月比4.7%の減少、比率ベース：2カ月連続の減少）、輸入総額は1,211億円（同3.2%の減少、2カ月連続の減少）であった。差引額は372億円（同9.3%の減少）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「加熱用・冷却用機器」、「二輪自動車類」などが増加したものの、「原動機」、「科学光学機器」、「非金属鉱物製品」などは減少した。

輸入は「無機化合物」、「金属鉱及びくず」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「がん具及び遊戯用具」、「有機化合物」などは減少した。

地域別では、輸出は「アジア」、「アメリカ」が減少、「EU」は増加した。輸入は「アメリカ」が減少、「アジア」「EU」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,583億円	▲4.7%	1,211億円	▲3.2%	372億円	▲9.3%
	2カ月連続の減少		2カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 加熱用・冷却用機器	55億円	+41.1%	輸入	増加品目	(1) 無機化合物	27億円	5.7倍	
		(2) 二輪自動車類	160億円	+6.9%			(2) 金属鉱及びくず	25億円	6.7倍	
		(3) 非鉄金属	35億円	+26.2%			(3) 二輪自動車類	23億円	2.1倍	
	減少品目	(1) 原動機	199億円	▲10.4%		減少品目	(1) 液化天然ガス	106億円	▲20.1%	
		(2) 科学光学機器	83億円	▲21.6%			(2) がん具及び遊戯用具	33億円	▲35.9%	
		(3) 非金属鉱物製品	8億円	▲69.4%			(3) 有機化合物	38億円	▲28.9%	
	主要地域 増減	アジア、アメリカが減少、EUは増加				主要地域 増減	アメリカが減少、アジア、EUは増加			

（参考）ドルレートは、143.97円（前年同月比7.4%、11.51円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

## 2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	7億円	▲10.9%	53億円	+39.7%	▲46億円	+53.1%
	3カ月連続の減少		4カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1)写真用・映画用材料	5億円	+62.5%	輸入	増加品目	(1)とうもろこし	12億円	+43.8%		
		(2)自動車の部分品	15百万円	2.1倍			(2)パルプ	4億円	14倍		
		(3)織物用糸及び纖維製品	7百万円	3.8倍			(3)有機化合物	6億円	+41.4%		
	減少品目	(1)電気計測機器	—	全減		減少品目	(1)木材及びコルク	—	全減		
		(2)ポンプ及び遠心分離機	—	全減			(2)石炭	8億円	▲25.9%		
		(3)精油・香料及び化粧品類	25百万円	▲59.5%			(3)無機化合物	—	全減		
	主要地域 増減		アメリカ、アジアが減少、EUは増加					アジア、EUが増加、アメリカは減少			
	増減										

## 3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	242億円	▲12.6%	74億円	3.9倍	169億円	▲34.7%
	5カ月連続の減少		6カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1)自動車の部分品	62億円	+45.4%	輸入	増加品目	(1)自動車	45億円	2,642倍		
		(2)電気計測機器	9億円	3.3倍			(2)木材及びコルク	7億円	3,192倍		
		(3)無機化合物	11億円	+79.8%			(3)飼料	2億円	全増		
	減少品目	(1)自動車	70億円	▲52.5%		減少品目	(1)鉄鋼	6億円	▲30.6%		
		(2)二輪自動車類	4億円	▲53.0%			(2)お茶	—	全減		
		(3)運動用具	5百万円	▲95.1%			(3)精油・香料及び化粧品類	7百万円	▲32.2%		
	主要地域 増減		EUが減少、アジア、アメリカは増加					アジア、EUが増加			
	増減										

## 4. 静岡空港

輸出入実績なし